

◆第81回定期全国大会決定事項に基づく申し入れ

【気仙沼支部】宮城県気仙沼市に申し入れ

1月28日、気仙沼市役所において、甲斐忠行気仙沼支部長と渡會かおる全国海友婦人会気仙沼支部長が、気仙沼市に対し、第81回定期全国大会決定事項に基づく申し入れを行い、菅原茂気仙沼市長にご対応いただいた。

申し入れでは甲斐気仙沼支部長から菅原市長に申し入れ文書を直接手渡すとともに、

- ①船員における住民税減免について
- ②海に親しむ活動の推進について
- ③船内廃棄物の受入れ施設の充実について
- ④海洋プラスチックごみへの対応について一の4項目を強く要請した。

申し入れに対し、菅原市長からは

- ①住民税減免について一住民税は公平に負担いただくのが原則であり、特定の業種のみを優遇することは難しいが、市として漁業の重要性は認識しているため、国や他自治体の動向を踏まえ検討したい
- ②海に親しむ活動の推進について一他団体の協力を得て小中学生を対象に遠洋まぐろ延縄漁船や造船所の見学等も実施している。今後は東京海洋大学とも連携しながら練習船の見学なども視野に入れ活動していきたい
- ③船内廃棄物の受け入れ施設の充実について一ごみの受け入れ施設は設置していないものの、回収できる体制は整いつつある。今後も業界団体と連携し、ごみ縮減に向けた取り組みを呼びかけたい
- ④海洋プラスチックごみへの対応については、本年1月に気仙沼市海洋プラスチック対策推進会議を開催し、アクションプランの取り組み状況と今後の課題を議論している。具体的には、海上でのプラスチックごみの徹底した回収や意識の啓発と変革を念頭に取り組みを強化したい一などの考え方が示された。

「海員だより」